

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター
実施機関名： 一般社団法人中部産業連盟

25-22-12-081-029

B. 生涯キャリア形成	081 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動(実施編)
技能・ノウハウ継承	

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員がこれまでの経験を活かして、自ら安全衛生活動に取り組むことにより企業内の安全意識の向上に寄与するとともに、誰もが実施している5S等を通じて、若手従業員に対して安全活動の重要性について伝達するための知識と技能を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
					月 日	時刻
	1	安全衛生意識の醸成	(1)企業の安全衛生の意義【演習】 ・企業にとっての事故の形態や多様化する安全衛生管理項目等と、現在の国内の災害発生状況等を説明し、自社の安全衛生状況や従業員の安全衛生意識についてグループ討議で意見交換を行います。	1.0	令和7年 12月16日(火)	9:30～16:30 昼休憩 12:00～13:00
			(2)安全衛生活動に係わる知識 ・安全衛生関係法令と教育、安全配慮義務、安全衛生活動に係わる資格や知識について説明します。	1.0		
	2	安全衛生活動の考え方	(1)労働災害の未然防止活動 ・5S活動と安全衛生の関係について説明します。 ・ヒヤリハット情報の収集による安全意識向上について説明します。 ・安全衛生パトロールの実施のポイントについて説明します。	0.5		
			(2)労働災害リスクの低減活動【演習】 ・危険予知訓練の進め方のポイントを説明したのち、グループ演習で事例の危険予知訓練を実施します。 ・リスクアセスメント実施の重要ポイントを説明した後、簡単な事例でグループ演習を行います。	1.5		
	3	ノウハウの伝承方法	(1)知識の整理と伝承 ・経験した職場の過去トラ事例とリスクアセスメントの結果の共有について説明します。 ・職場の暗黙知を形式知にする為のSECIモデルを説明し、標準書作成の重要性を進め方について説明します。 ・それらの事について何が重要かグループで討議する演習を行います。	1.5		
			(2)現場リーダーの役割の伝承 ・日常の現場点検活動の実施と職場の安全環境と安全意識の維持管理について説明します。 ・今後、自職場にてどの様に行動してゆくか、個人でまとめる演習を行います。	0.5		
	合計時間			6時間		

カリキュラム作成のポイント
多様化する企業の安全衛生管理について改めて現在必要な知識を整理すると共に、これまでの自社の安全衛生活動の進め方について再認識して頂きます。その上で、どの様に安全性製活動を進めてゆくべきかを再考する機会を提供し、それらの内容を若手従業員に伝承する為にどの様にすべきかについて説明します。